

三原市民と市長の「みらいトーク」(第 28 回)実施結果

目的 市長が、地域や団体の活動の場に出向き、市民との対話を通じて市政やまちづくりに対する積極的な意見や提案を広く聴き、今後の市政運営に活かすとともに市民の市政への参画機会の拡充を図ること。

日時 令和 5 年 9 月 25 日(月)18 時～19 時 30 分

場所 三原市役所本庁舎 4 階 第一応接室

参加者 県立広島大学三原キャンパス在学生(6 名)、三原市長

内容 各項目について市長が質問し、参加者と意見交換

1 三原に住んでみた感想や印象を教えてください。

【参加者から】

- ・地域全体がフレンドリーで、困ったことがあると町内会全体で考えてもらえる。
- ・三原は町の規模として大きくないが、駅周辺だけが発展して周辺部は遅れている印象がある。
- ・平地が多く、いろいろな場所へ自転車で行くことができ、行動しやすい地形だと思う。
- ・夜の星空が綺麗で、海が近く、海の香りが感じられる自然がいいと思う。
- ・生活面では、ドラッグストアが多くて、生活必需品を安く買うことができる。
- ・三原は、タコやプリンなど地域色が全面に出ている。「プリン出没注意」という掲示も面白くて、全体の雰囲気楽しく、テーマパーク感があるのがいいと思う。逆に、地域色が強すぎるせいなのか、隣の尾道とつながりがないように感じる。
- ・祭りをみんなで作り上げていくところがいいと思う。
- ・海も山も近くて気候が良く、過ごしやすいところだと思う。

【市長から】

- ・地域のつながりが強いところは、三原のいいところの一つだと思う。
- ・移住してこられた方は共通して、三原は街がコンパクトであるため、生活に必要な機能がすぐにそろうという意味で生活しやすいと言ってくれる方が非常に多い。
- ・地域色が強いところはあると思う。タコやプリン、祭りを全面的に押し出して、みんなで盛り上げようとしている。

2 休日などはどのような場所へ遊びに行っていますか。

【参加者から】

- ・ボウリングによく行っているが、広島や福山まで行っている。
- ・須波の海など自転車でいろいろな場所へ行っている。
- ・自宅の近くやお互いの家で遊ぶことが多い。
- ・三原には映画館がないので、福山(神辺)まで行っている。
- ・三原に住んでみて、三原の人が福山の映画館やボーリング場へわざわざ行っていることを知って驚いた。(福山出身)

3 大学卒業後の自分にどのようなイメージを持っていますか。

【参加者から】

- ・三原が大好きなので三原に住み続けたい。地域のバスケットボールクラブに参加していて、卒業したらアシスタントコーチをしてほしいという話もあるので続けていきたい。また、これまで整体でたくさん治療をしてもらったので、恩返ししたい気持ちもあり、三原に貢献したい。
- ・地元がすごく好きで、父親が地元の小学校のサッカークラブの監督をしているので、理学療法士として地元に戻って仕事をしながら、子どもたちをバックアップしていきたい。
- ・自分も地元が好きなので地元に戻って就職したい。これまで地元でお世話になった病院で働いて恩返しをしたい。また、親が高齢のため、近くにいたいという気持ちもある。
- ・大きな病院はいろいろな人と関われるという良さがあるし、地域の病院はその人に寄り添える近い存在になれるという良さがあるので、どちらか決めれていないが、病院で理学療法士を届けたい。
- ・三原には大好きな祖母が住んでいる。神戸に戻るとあまり会えなくなるので、遠いところには行きたくない。できるだけ長くおしゃべりとかしてあげたいという気持ちがある。もう一つ、私は一人暮らしがしたいので、実家には戻らずに大阪の吹田辺りに住みたい。なぜその場所かという、電車に乗れば大阪や三宮に行くことができ、24 時間営業のお店もあるキラキラしたところに一度は住んでみたい。
就職先については、大きい総合病院ではなく、クリニックなどの生活期の患者さんで、例えば少し足を痛めているようなおじいちゃんおばあちゃん、けがをしている若い人などのリハビリを担当できるような人になりたい。
- ・実家暮らしは楽です。寝て起きたら朝ご飯があるし、帰ったら晩ご飯があるので、一人暮らしをしたいという気持ちもあるけれど、やっぱり実家に住み続けたい。
- ・一人暮らしも楽しいが、実家の隣に祖母の家があり、いつも両親が遅かったため、祖母の家で晩ご飯を食べさせてもらっていた。だから、実家に戻りたい気持ちもあるが、現在は、兄が帰ってきているので、兄が家を出たら戻りたいと思う。
- ・福山の実家へ戻り、足の悪い祖父がいるので、家族を支えながら、地域に恩返しをしたい。
また、10 年ほど大阪の方に住んでいたことがあり、吹田や箕面市でもお世話になった人がいるので、そちらでも働きたいという気持ちもありつつ、全く知らない東北地方に行って、ほのぼのと暮らしたいという夢もある。最近、全く関係ないところで働いてみたという気持ちもでてきた。

【市長から】

- ・中高校生の部活動の地域移行が進んでいく中で、地域の方々が指導してくれスポーツを通じて果たしていただく役割が大きくなっていくかもしれないので、期待している。
- ・大学生になって半年経ち、見える世界が変わって視野が広がっていると思う。
少し悩んだり、いろいろ考える機会があると思うが、理学療法という分野で自分の強みを伸ばすことによって、様々な活躍の場が広がりそうである。
- ・これまでお世話になった人のところで働きたいという気持ち、恩返しの気持ちを持って働けるというのはすごくいいこと。
- ・皆さんが高めている専門性が、困っている人の何か役に立ったりとか支援ができる仕事であると思う。

4 結婚について、どのように考えていますか。

【参加者から】

- ・理想としては、地元に戻らず、知らない土地で新しく生活をはじめ、保健福祉系の専門職につき、運命の出会いを果たしたい。異性とうまくしゃべるのがあまり得意ではないけど。
- ・理想像はクレヨンしんちゃんの野原家みたいな家族。妥協する自分をひっぱたいてくれる奥さんが理想。
- ・いとこを含めて家族の中で一番末っ子なので、自分より下の子を育ててみたいということもあり、子育てをしてみたい。お金を貯めてスローライフを送りたいので、その時に誰か隣にいてほしい。
- ・仕事をちゃんとしたいので、その気持ちを分かってくれて、仕事に理解がある人がいいと思っている。最近、両親と一緒に旅行に行っている様子を見て、子どもが成長し、余裕ができた時に一緒に旅行に行けるような大人になっても仲のいい夫婦でいたい。結婚をしたいという思いは常にある。
- ・結婚はできたらしたいと思うが、素敵な人にめぐり会えることなんてできるだろうかという不安はある。テレビなどに登場する、死ぬまでずっと仲のいい老夫婦というのが自分の中での理想。実際、ああいう素敵な夫婦になるのは何%の確率なんだろうかと考えてしまう。仲のいい夫婦でいたいと思うけど、そうなれる自信がない。
- ・私も結婚はしたいとっていて、女性の出産は高齢になると大変だと思うので、体のことを考えると20代のうちには結婚したいと思う。バイト先で一緒に買い物に来るおじいちゃんおばあちゃんを見るとほっこりする。20代のうちにいい出会いがあれば。
- ・自分の周りには結婚願望がある人が多い。

【市長から】

- ・皆さん、共通してるのは結婚をしたいということ。
- ・テレビなどでいろいろと報道されているが、今の20代30代の方は結婚をしない人がすごく増えてきている。それは、結婚に対する考え方が多様化しているということで、どちらが良い悪いではないと思っている。そういう中で、今、皆さんのお話を聞いていると、総じて結婚したいという希望があるというのは、少し驚いた。
- ・これから先、いろいろと具体的なイメージが湧いてくるとは思うので、ぜひ、楽しい人生を歩んでいただきたい。

5 三原の生活で困っていることや課題に感じていることがありますか。

【参加者から】

- ・フジグラン周辺で自転車に乗っている時に怖いと思うのが、歩道の段差が高いこと。高齢者や車椅子の人、ベビーカーを押している人がすごく困ってるように見えたので、バリアフリーを取り入れるなど、配慮したまちづくりをすれば、活性化するのではないかな。
自転車に乗っていても、段差があって買った物がカゴから飛び出すことがある。それが多々あって事故につながりそうで怖い。
- ・私の祖母は和田に住んでいるが、スーパーが近くにない。祖母は足が悪く、祖父は高齢のため、

あまり遠くまで買い物に行くことができない。移動スーパーが来てもすぐに通り過ぎてすまう。祖父が高齢で免許証を返納することになると買い物に行くこともできず、通販なども使えないので困ると思う。

【市長から】

- ・今、指摘していただいたところは、非常に大事なことだと思っている。
現在、三原市内の高齢化率は 36%を超え、これからますます高まる一方で、高齢者の皆さんも、車の運転が難しくなるような世帯がさらに増えていくと考えている。
そうした中で、病院や買い物などに行かなければならない時に、地域の公共交通をどのように維持していくか、充実化させていくかということは、とても重要な課題だと思っている。
まず、公共交通を充実させていくということと、一方で、先ほど話しにあった移動スーパーなどを、もう少し利用しやすいような形にしていくことも大事だと思っている。
和田に限らず、いろんな地域で起きていることで、何キロも行かないとスーパーがないような地域も三原市内には多いので、どのような支援をしていくかということは、行政も知恵を絞っているところである。

【参加者から】

- ・宮浦辺りの住宅街を帰るときに、一時停止線やカーブミラーがないところが多いのが気になっている。小学生の通学路もあるので一時停止線などがもっとある方が、子どもも車の人からしても安全に運転できたり、安全に学校に通うことができるのではないかな。

【市長から】

- ・子どもの通学路の安全確保については、力を入れて取り組んでいる。学校や地域など、いろんな人に協力してもらい、危険な場所を洗い出しているが、全部を一度に整備することはなかなか難しい。優先順位をつけての対応になっているが、安全な道路をつくっていくことはすごく大事だと思っている。
ここは危険だという具体的な箇所があれば、通報していただきたい。危険な箇所を少しでも減らしていけたらいい。

【参加者から】

- ・学生は一人暮らしをしているので、暗い場所はとても怖い。お店が閉まる時間になると、真っ暗で怖い。もう少し街灯があるといい。

【市長から】

- ・街灯を取り付けるには、電気代の負担もあるのため、町内会の理解が必要になる。防犯上、よくなところはあと思う。

【参加者から】

- ・高齢者が多いからこそ、高齢者の方々が外に出たくなるような散歩コースがあったらいいと思う。
植物や花、自然などを見ながら歩けるように、外に出る機会がつけられるような場所がもう少しあったらいいと思う。

【市長から】

- ・ウォーキング大会は、健康のため歩いてみようという目的では各地域で行われている。
市内にはスポーツ振興を一生懸命やっている人達がたくさんいて、ウォーキングでも、安全な道

で、かつ楽しめるような道を選んでくれている。そういう場所を高齢者の皆さんにも歩いていただけるようになるといいと思う。

今までも機会はつくってきてはいるが、それをより増やして、高齢者の皆さんにも情報をしっかり届けていきたい。

【参加者から】

- ・学園通り近くの店舗の駐車場に、夜、人が集まっていて怖いことがある。駐車場とかでそういうのを見ると少し治安が悪い印象を持たれてしまう。

【市長から】

- ・防犯的な呼びかけをしているが、学生が住む上で、怖い思いをしなくて済むように、私からもいろいろな呼びかけをしていきたい。

6 まとめ

- ・学生の皆さんからの話を聞いて、新しい視点での話が多く、また、三原のいいところも教えてもらう中で、新鮮な発見もあった。そういう意味ではすごくありがたかった。いいところはどんどん伸ばし、課題は解決していきたい。
- ・今後のキャリアプランやライフプランなども聞かせてもらったが、皆さんがこの県立広島大学で専門性を高め、学校の授業だけでなく、地域でも実習などでも、様々な経験を積むことになると思うので、人として、ぜひこの4年間で大きく成長していただきたい。
- ・三原で過ごした4年間は自分の宝物だったと言ってもらえるように、三原市行政としてもいろいろなバックアップをしていきたいと思っている。今後、地域の行事や祭りなどに参加する機会があると思うが、私も行くことがあるので、会った時には、「あの時の私ですよ」ということで、近況を教えてください。